

## 第5節 浜田医療圏

### (1) 概況

#### ① 人口及び面積

	人口 (人)	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口密度 (人/k m <sup>2</sup> )	年齢別人口割合 (%)		
				0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上
浜田	79,102	958.90	82.5	11.4	52.2	36.4

人口：「平成 30 年 1 月 1 日住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）（総計）」に基づき二次医療圏別に編集したもの

（外来医師偏在指標に係るデータ集（厚生労働省提供）より）

面積：平成 27 年全国都道府県市区町村別面積調（国土交通省国土地理院）

#### ② 外来医師偏在指標

外来医師多数区域に該当

外来医師偏在指標：113.0	
一般診療所従事医師数：76	標準化診療所従事医師数：76
診療所外来患者対応割合：74.5%	順位：71

\*圏域内偏在

少数区域：旧那賀郡、江津市

#### ③ 医療機関の状況

##### ア) 医療施設数

	病院	一般診療所
浜田圏域	8	91
浜田市	5	63
江津市	3	28

県医療政策課（令和元年 10 月 1 日時点）

##### イ) 在宅医療に関する施設数

	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	在宅療養支援診療所
浜田圏域	0	1	23
浜田市	0	1	15
江津市	0	0	8

中国四国厚生局管内の届出受理医療機関名簿（令和元年 10 月 1 日現在）より

##### ウ) 島根県医療機能情報システム

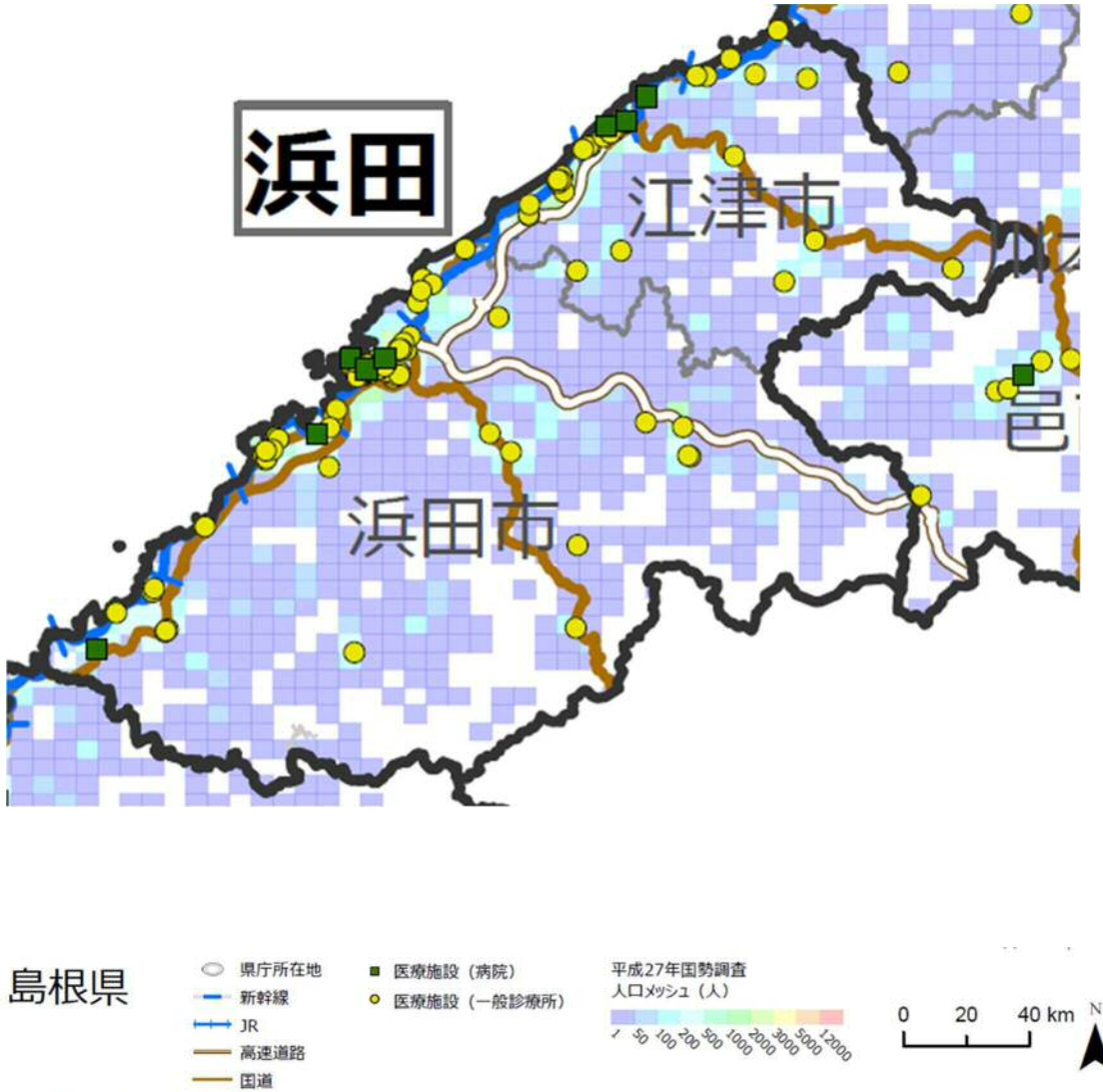
- ・検索が可能な医療機関（島根県内の病院、診療所、歯科診療所、助産所）
- ・主な機能：地域から検索、診療科目から検索、治療内容や保有する設備、専門外来や予防接種などいろいろな条件で検索

<http://www.mi.pref.shimane.lg.jp/shimane/ap/qq/men/pwtpmenult01.aspx>

エ) 施設配置状況

— 医療施設所在地マップ（厚生労働省提供）より —

医療機関マッピング（地方厚生局届出情報）



注：地理情報は平成30年4月時点  
この地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）を使用した。（承認番号 平30情使 第524-1号）

## 医療機器の保有状況

機器名	医療機関名 (台数) (H29 時点)			
	病院		診療所	
CT	7	浜田医療センター (2) 西川病院 (1) 島田病院 (1) 山根病院 (1) 済生会江津総合病院 (1) 西部島根医療福祉センター (1)	3	中村呼吸器内科医院 (1) やすぎクリニック (1) 敬川沖田クリニック (1)
MR I	4	浜田医療センター (2) 済生会江津総合病院 (1) 西部島根医療福祉センター (1)	0	なし
PET	1	浜田医療センター PET-CT (1)	0	なし
放射線治療	1	浜田医療センター (1)	0	なし
マンモグラフィ	2	浜田医療センター (1) 済生会江津総合病院 (1)	0	なし

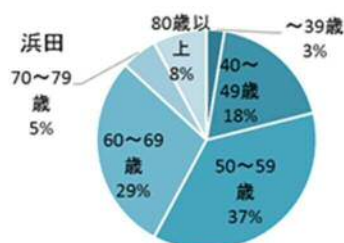
### オ) 島根県在宅医療供給量調査(平成 29 年度)

#### 調査結果

在宅医療を実施している診療所医師年齢層

在宅医療の需要と供給

単位：人



## (2) 現状と課題及び今後の方向性

### ① 【全体の方向性】

浜田圏域は医師多数区域に入っていますが、平均年齢の高い外来医師が在宅医療を支えている現状があります。また、平成 29 年度に実施した「在宅医療供給量調査」によると、将来的に在宅医療を維持できないと答えている診療所も増えています。

今後、医療機能の維持のためには、新規開業医に対して一定数参入してもらうことが必要であると考えられます。新規開設の診療所に対しては、以下の項目の 1 つ以上の対応を求めたいと考えています。

### ② 【初期救急医療の提供体制】

#### ア) 現状と課題 (提供体制)

〇かかりつけ医、浜田市休日診療所、浜田医療センター、済生会江津総合病院が初期救急医療を担う医療機関として位置づけています。江津市には休日診療所がなく、休日夜間は済生会江津総合病

院を受診するか、診療科によっては浜田医療センターまで受診しています。浜田市休日診療所は、医師会員が交代で対応し、開業医の負担が少なくありません。

※浜田市休日診療所受診状況

H28年度 1,252件、H29年度 1,517件、H30年度 1,364件

浜田市医師会に所属する開業医 29人が当番制で診療を行っています。

#### イ) 今後の方向性

○浜田市休日診療所への協力

### ③【在宅医療の提供体制】

#### ア) 現状と課題

○医師の高齢化に伴い、夜間・休日を含め、訪問診療・往診に対応している診療所は限られています。また、診療所を対象としたアンケート調査の結果、後継者がいない診療所も多くあったことから、今後、在宅療養患者の訪問診療のニーズにどう対応していくのが課題です。

○浜田圏域では、患者と患者を支える家族の高齢化がすすみ、在宅療養を続けるための介護力・生活力が低くなっていることが挙がっており、地域ごとの日常生活支援のしくみづくりが求められています。

○浜田市内の病院においては、退院後の療養先に苦慮している状況にあり、浜田市の退院患者の約20%は広島県内の慢性期病棟に転院している現状です。浜田市においては、退院後に在宅療養が可能となるよう在宅医療・在宅介護の体制づくりを検討していく必要があります。特に、人生の最終段階にある患者を、診療所同士の相互支援により診療するしくみができないか、関係機関との協議を重ねていきます。

○江津市では、高齢者施設での看取りや自宅での看取りの割合が少ない特徴があります。厚生労働省人口動態調査によれば、高齢化率や高齢者世帯は両市に大きな差はありませんが、浜田市では高齢者施設や自宅での看取り割合が県平均より多いのに対し、江津市は浜田市の約半分の割合であり差があります。

○江津市医師会では、江津総合病院に委託して医療連携推進コーディネーター事業を実施しており、訪問診療についての意見交換会を重ね、今後は医師と訪問看護師・ケアマネジャーとの意見交換の場を設ける予定です。医療機関との個別意見交換をすすめる中で、新たに訪問診療に取り組む診療所や訪問診療受け入れ患者を増やした診療所がありました。今後も検討を重ねる中で、在宅療養患者の支援体制づくりをすすめていくこととしています。

#### イ) 今後の方向性

○訪問診療または往診

○グループ診療への協力

### ④【産業医、学校医、予防接種等の公衆衛生に係る医療提供体制】

#### ア) 産業医

○浜田市は産業医の資格を持っている医師は多く、現時点では、産業医確保に困っている状況はみられません。

○江津市も産業医が不足している状況にはありませんが、将来的には不安との声があります。

#### イ) 学校医

○内科医について、現状では対応に困るという状況ではありません。しかし、眼科医・耳鼻科医に

については、浜田市内すべての眼科医・耳鼻科医が複数校に対応している状況です。現在、対応している医師が引退されると、より少ない医師ですべての学校に対応せざるを得なくなることから、医師の高齢化と医師不足は深刻な状況にあります。

○江津市も内科は1校1医師に対応しており、現時点では対応に困る状況にはありませんが、眼科医は市内に1ヶ所、耳鼻科医は市内にはない状況です。また、医師も高齢のため、医師確保が重要となります。

#### ウ) 予防接種等

○予防接種においては、圏域の小児科医は都市部に集中しており、中山間地では、内科医も含めて予防接種に対応しており、今後とも医師確保が重要になります。

○行政における各種審査会（介護認定審査会等）にも、医師参加が必要であり、医師の確保に苦慮しています。

#### エ) 今後の方向性

○ニーズに応じ、学校医・産業医としての業務を担う。

○予防接種の実施、介護認定審査会など審査会委員としての協力、行政が開催する会議への参加

### (3) 新規開業者へ求める事項

- 1) 浜田市休日診療所への協力
- 2) 訪問診療、往診、グループ診療への協力
- 3) 在宅医療・在宅介護の体制づくり（在宅療養患者の支援体制づくり）への協力
- 4) 学校医・産業医としての業務
- 5) 予防接種の実施
- 6) 介護認定審査会など審査会委員としての協力、行政が開催する会議への参加

### (4) 医療機器の効率的な活用に係る計画

機器名	共同利用の方針
CT	<p>浜田市は、浜田医療センター（2台）、西川病院（1台）、島田病院（1台）、山根病院（1台）と、中村呼吸器内科医院（1台）、やすぎクリニック（1台）にある。病院では、精神科や医療依存度・介護度が高い患者が多く、患者の移動が困難な現状がある。</p> <p>基本、診療所は、浜田医療センターに紹介して検査を実施している。</p> <p>江津市は、基本的に、地域医療連携法人として共同利用している。</p> <p>済生会江津総合病院（1台）、西部島根医療福祉センター（1台）、敬川沖田クリニック（1台）にある。</p> <p>西部島根医療福祉センターは、重症心身障害児・者の患者が入院しており移動が困難であるという状況がある。</p> <p>今後もより効果的に利用できるよう連携を図っていく。</p>
MR I	<p>浜田市は、浜田医療センターが2台所有しており、各診療所から紹介されて検査を実施している。（共同利用）</p> <p>江津市は、済生会江津総合病院1台所有しており、基本的に地域医療連携法人として共同利用している。</p> <p>西部島根医療福祉センターが1台所持しているが、その病院は、重症心身障害児・者の患者が入院しており移動が困難であるという状況がある。</p>

	今後もより効果的に利用できるよう連携を図っていく。
P E T	浜田医療センターにPET-CTあり（1台）。 各診療所から紹介されて検査を実施している（共同利用）。 今後もより効果的に利用できるよう連携を図っていく。
放射線治療	浜田医療センターに放射線治療あり（1台）。 各診療所から紹介されて検査を実施している（共同利用）。 今後もより効果的に利用できるよう連携を図っていく。
マンモグラフィ	浜田市は、浜田医療センターに1台所持しており、各診療所から紹介されて検査を実施している。（共同利用） 江津市は、済生会江津総合病院に1台所持しており、地域医療連携法人として共同利用している。 今後もより効果的に利用できるよう連携を図っていく。

※出典：H29 医療施設静態調査